

1. 標的型攻撃メールによる被害を防ぐ方策として効果がないのはどれか。（第30回臨床工学技士国家試験）

(ア) 電子署名の利用

☒ (イ) Webメールの利用 **1番効果がない。**

(ウ) 利用者の教育・訓練

☒ (エ) ウィルス対策ソフトの導入 **ウィルス対策ソフトは完璧ではない。また、ソーシャルハッキングに対して**

☒ (オ) ソフトウェアアップデートの実行

**ソーシャルハッキングに対しては効果なし。**

**効果なし。**

2. ランサムウェア対策として効果がないのはどれか。（第31回臨床工学技士国家試験）

☒ (ア) ファイルはすべて暗号化して保存する。

(イ) 不審な添付ファイルのついたメールは削除する。

(ウ) ウィルス対策ソフトの定義ファイルを更新する。

(エ) OSを更新し脆弱性を解消する。

(オ) 重要なファイルは定期的にバックアップしておく。

3. 使用しているパソコンで、コンピュータウイルス等の不正なソフトウェアが動作していると考えられる。使用しているパソコンの初動対応として最も適切なのはどれか。（第29回臨床工学技士国家試験）

(ア) パスワードを変更する。 **キーロガーが入っていたらパスワードがぬすまれる。**

☒ (イ) ネットワークから切断する。 **まず被害が拡大しないようにする。**

(ウ) USBメモリにファイルをバックアップする。 **USBメモリにマルウェアが入る可能性。定期的に行う。**

(エ) システム・ソフトウェアのアップデートを行う。 **アップデートしてもマルウェアは消えない。3番目に行う。**

(オ) ウィルス対策ソフトを用いてシステムのスキャンを行う。 **2番目に行う。**

**1番目に行う。**

4. セキュリティ向上に直接関係するのはどれか。（第27回臨床工学技士国家試験）

a. オープンソース

b. スパイウェア

☒ c. 電子署名

☒ d. 公開鍵

☒ e. プロキシサーバ

1. a, b, c   2. a, b, e   3. a, d, e   4. b, c, d   ☒ 5. c, d, e

5. IoT 機器が医療に導入された際の危険性や起こりうる事件・事故を考えよ。